

ORCAと電子カルテの現状

ひたちなか市医師会 勉強会



医療のIT化はなかなか進みませんが、
今から準備をして、将来に備えることをお勧めします。

2010年10月18日

ラジエンスウェア株式会社

埼玉県児玉郡上里町堤 696-7

代表取締役 中嶋吉男

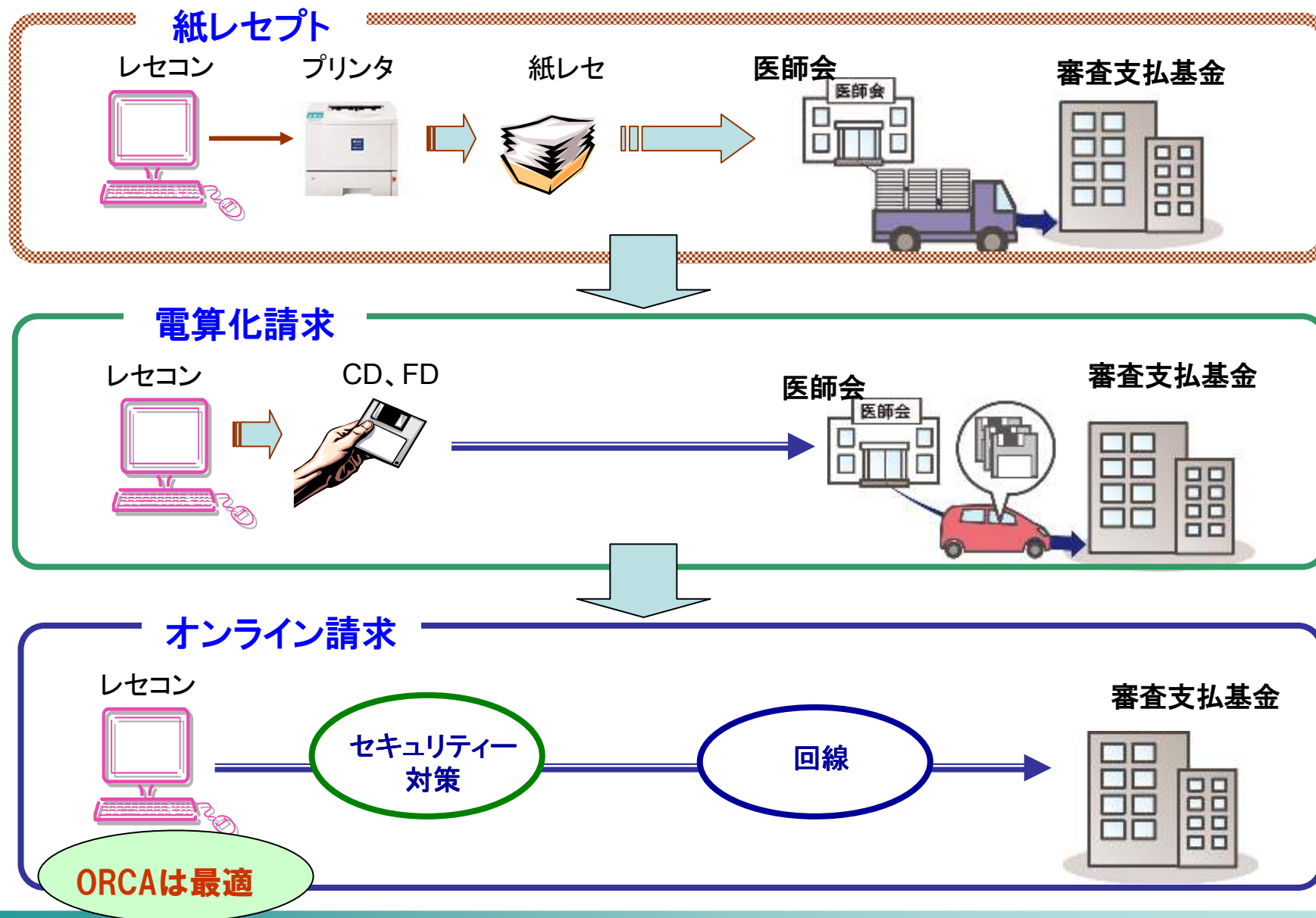
TEL 0495-35-0081

FAX 0495-35-0075

認定 日医IT認定サポート事業所



レセ・電算化とオンライン請求



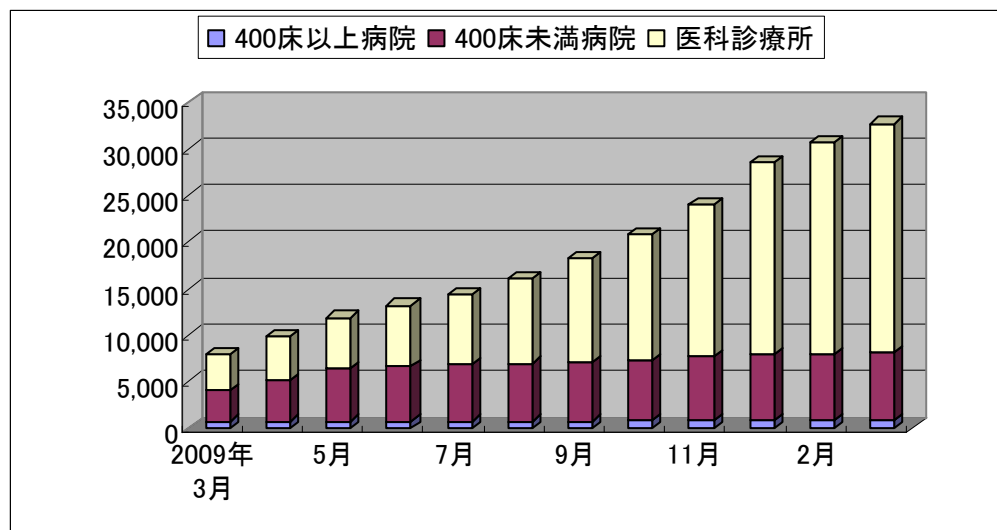


レセ・オンライン請求の実績推移



2009年3月～2010年3月までの1年間の推移

	2009年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	2010年 1月	2月	3月
400床以上病院	761	766	772	775	779	781	783	788	789	793	797	798
400床未満病院	3,301	4,356	5,678	5,918	6,062	6,202	6,359	6,579	6,945	7,133	7,211	7,281
医科診療所	3,948	4,709	5,465	6,506	7,599	9,140	11,113	13,518	16,274	20,666	22,776	24,638
合計	8,010	9,831	11,915	13,199	14,440	16,123	18,255	20,885	24,008	28,592	30,784	32,717



病院 : 98%

診療所 : 25% (3月)

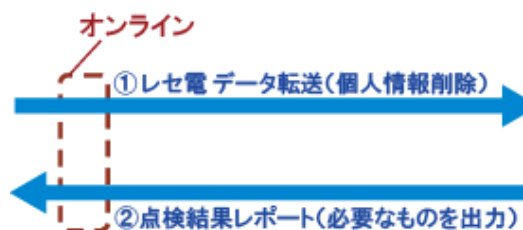
当社のユーザ(230件)の内
(150件)(65%)が
オンライン請求を実施



これからのレセプト点検



レセプト点検サービス レセ楽net



メリット

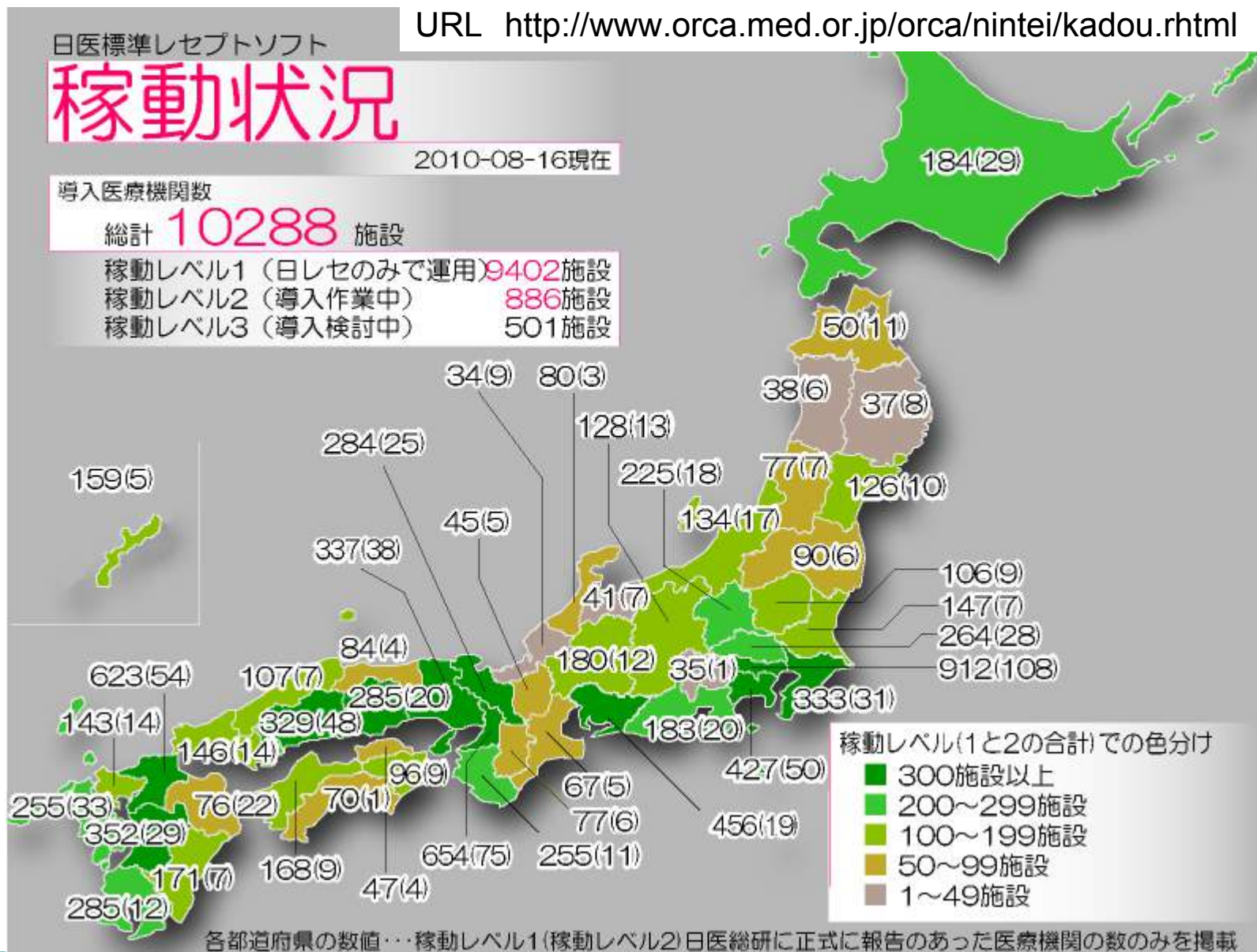
- 月初の集中作業から開放される ⇒ 平準化
- レセプト点検時間を大幅に削減できる ⇒ 経費節減
- レセプトの信頼性が上がる ⇒ 査定・返戻対策
- 点検結果レポートによる分析確認 ⇒ スタッフ育成
- スタッフのレベルに左右されない ⇒ 人事対策



ORCA稼動状況



URL <http://www.orca.med.or.jp/orca/nintei/kadou.rhtml>





ORCAの導入実績と分析



A)実績

- ① 8年で10,000件(10%) →予定通り
- ② 他の既存メーカーよりオンライン請求の率が高い →標準装備
- ③ 接続可能な電子カルテは25機種以上 →接続自由
- ④ カスタマイズ可能で帳票類が充実 →機能アップ
- ⑤ データ取出しが可能で、分析に活用 →経営支援
- ⑥ 周辺機器との連携が可能で、接続実績が多数 →院内改善

B)分析

- ① 8年で10%は、多いか、少ないか
- ② ORCAベンダーの力量？ →バラツキがある
- ③ 医療機関の検討努力？ →今まで通りへ。負担は避ける
- ④ 日医の対応と努力？ →病院版の対応。うわさが広まる。

C)今後について

- ① 病院での採用により見直される
- ② オーダリング、電子カルテとの連動で採用機会が増える



ORCAと連動する電子カルテ



No.	機種名	メーカー名	入院機能	RAD扱い
1	Ray-Karte (レイ・カルテ)	ラジエンスウェア株式会社	有り	自社
2	Ray-Touch (レイ・タッチ)	ラジエンスウェア株式会社	×	自社
3	FutureClinic21(フューチャークリニック21)	東日本電信電話株式会社	×	可能
4	REMORA(リモラ)	株式会社ピーエスシー	×	可能
5	Dr.BoarD(ドクターボード)	株式会社メディコール・ジャパン	×	可能
6	Dr.PenLite(ドクターペンライト)	オーダーメイドソリューションズ株式会社	×	可能
7	F-Kartet(エフ・カルテット)	株式会社ニューウェイブ	有り	可能
8	DS KARTE(ディーエスカルテ)	大新技研株式会社	有り	可能
9	DOCTOR'S DESK II(ドクターデスク)	株式会社シー・エム・エス	×	×
10	アーチャンカルテル(アーチャンカルテ)	株式会社アップルドクター	×	×
11	WAVEカルテ(ウェイブカルテ)	株式会社エヌ・ウェーブ	×	×
12	e-医キット mRec(エムレック)	株式会社久保田情報技研	×	×
13	MALL(メイル)	有限会社パシフィックシステム	×	×
14	Wine Style(ワインスタイル)	キワム電腦工務店	×	×
15	Aits Karte(エイトスカルテ)	有限会社エイトス	有り	×
16	WINE STYLE(ワインスタイル)	株式会社SJI	×	×
17	e-Clinic(イークリニック)	株式会社ポテト	×	×
18	RACCO(ラッコ)	システムロード株式会社	有り	×
19	Dr.CREDO(ドクタークレド)	株式会社クレドメディカ	×	×
20	MICS Carte(ミックスカルテ)	株式会社アイレックス	×	×
21	IZANAMI(イザナミ)	株式会社コア・クリエイトシステム	×	×
22	m-WAVE(エムウェイブ)	株式会社デジタル・オフィス	×	×
23	@homeDr.(アットホームドクター)	株式会社ファルコバイオシステムズ	×	×
24	OpenDolphin(オープンドルフィン)	株式会社デジタルグローブ	×	×
25	OpenDolphin(オープンドルフィン)	株式会社グッデイ	×	×
26	UniCare(ユニカルテ)	日本ユニシス株式会社	×	×
27	Medical Studio(メディカルスタジオ)	NDソフトウェア株式会社	×	×



電子カルテの導入件数



No.	システムメーカー名	ORCA連携	累積納入件数	シェア
1	三洋電機	×	2,700	20.1%
2	ダイナミクス	×	2,550	18.9%
3	BML	×	2,450	18.2%
4	ラボテック	×	1,400	10.4%
5	富士通	×	1,190	8.8%
6	ユヤマ	×	700	5.2%
7	東芝メディカルシステムズ	×	330	2.5%
8	島津製作所	×	310	2.3%
9	NTT東日本	○	270	2.0%
10	アガベ	×	250	1.9%
11	アイネットシステムズ	×	200	1.5%
12	三栄メディシス	×	190	1.4%
13	ピーエスシー	○	164	1.2%
14	セコム医療システム	×	160	1.2%
15	ポテト	○	110	0.8%
16	オーダーメイドソリューションズ	○	80	0.6%
17	その他		410	3.0%
合計			13,464	100.0%

- 1) レセコンのシェアに依存
- 2) 価格と導入しやすさ
- 3) 検査会社との連動
- 4) 検査機器とセットで導入
- 5) 薬品問屋との連携
- 6) 開業支援会社との連携
- 7) 使いやすさ
- 8) チェック機能
- 9) サポートの充実

導入率 13%



当社が扱っている電子カルテ



1) Ray-Karte (レイ・カルテ) 「自社製:レゾナ社よりOEM提供」

「導入実績」 7件

「入院機能」 有り

「特徴」 ● ORCA連動でコストダウンを実現。
● オーダリング・部門システムの充実で、中核病院まで対応。
● (iPad 入力方式で優れた操作性を実現。 2011年2月、対応予定)

330床 総合病院で稼動

■地域連携システム

■病棟管理システム

■看護支援システム

■リハビリ管理システム

■手術室管理システム

■透析室管理システム



当社が扱っている電子カルテ



2) Ray-Touch (レイ・タッチ)「自社製」

「導入実績」 70件(診療支援システム)

(iPad入力、オーダ機能付は2011年2月リリース予定)

「入院機能」 無し

「特徴」

- シンプルで安価に提供を可能。
- 紙カルテと併用に適している。
- (iPad 入力方式機能を組み込むことで、抜群の操作性を実現)

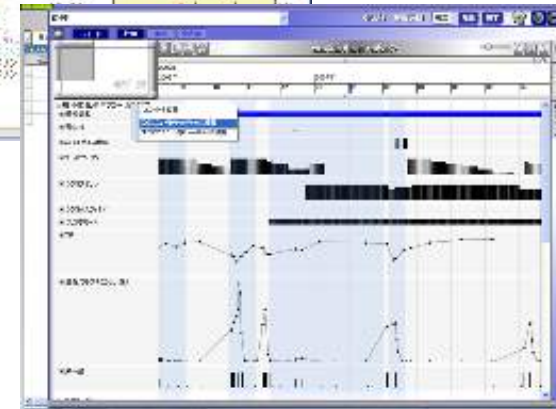
画像モニタ



患者情報



iPad 入力





当社が扱っている電子カルテ



3) FutureClinic21ワープ (フューチャークリニック21ワープ) 「NTT東日本」

「導入実績」 270件

「入院機能」 無し

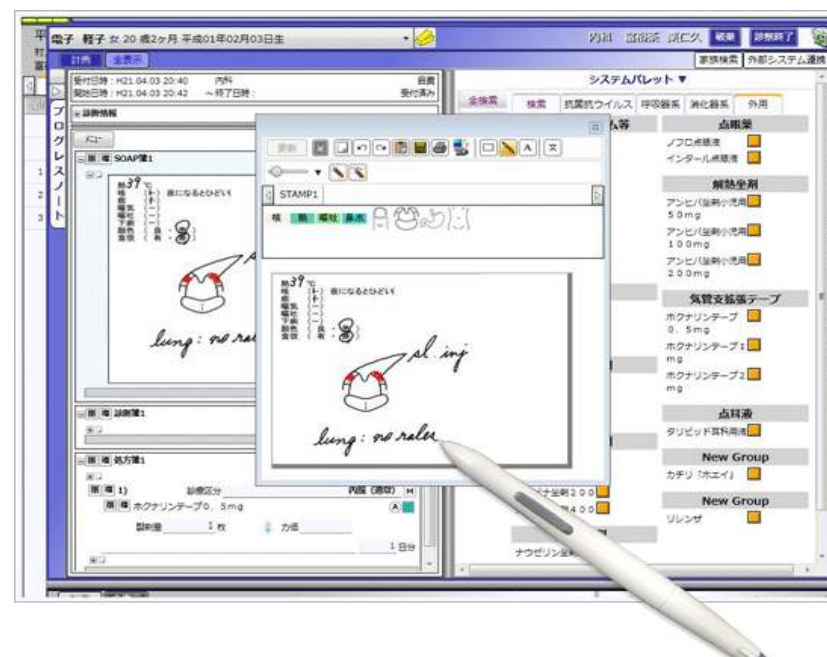
「特徴」 タブレットペン方式、全ての操作がペン1本で可能

URL <http://fc21.jp/features.html>



一発処方が可能

小児科・耳鼻科の先生に人気
患者さんが多くてもこなせる





当社が扱っている電子カルテ



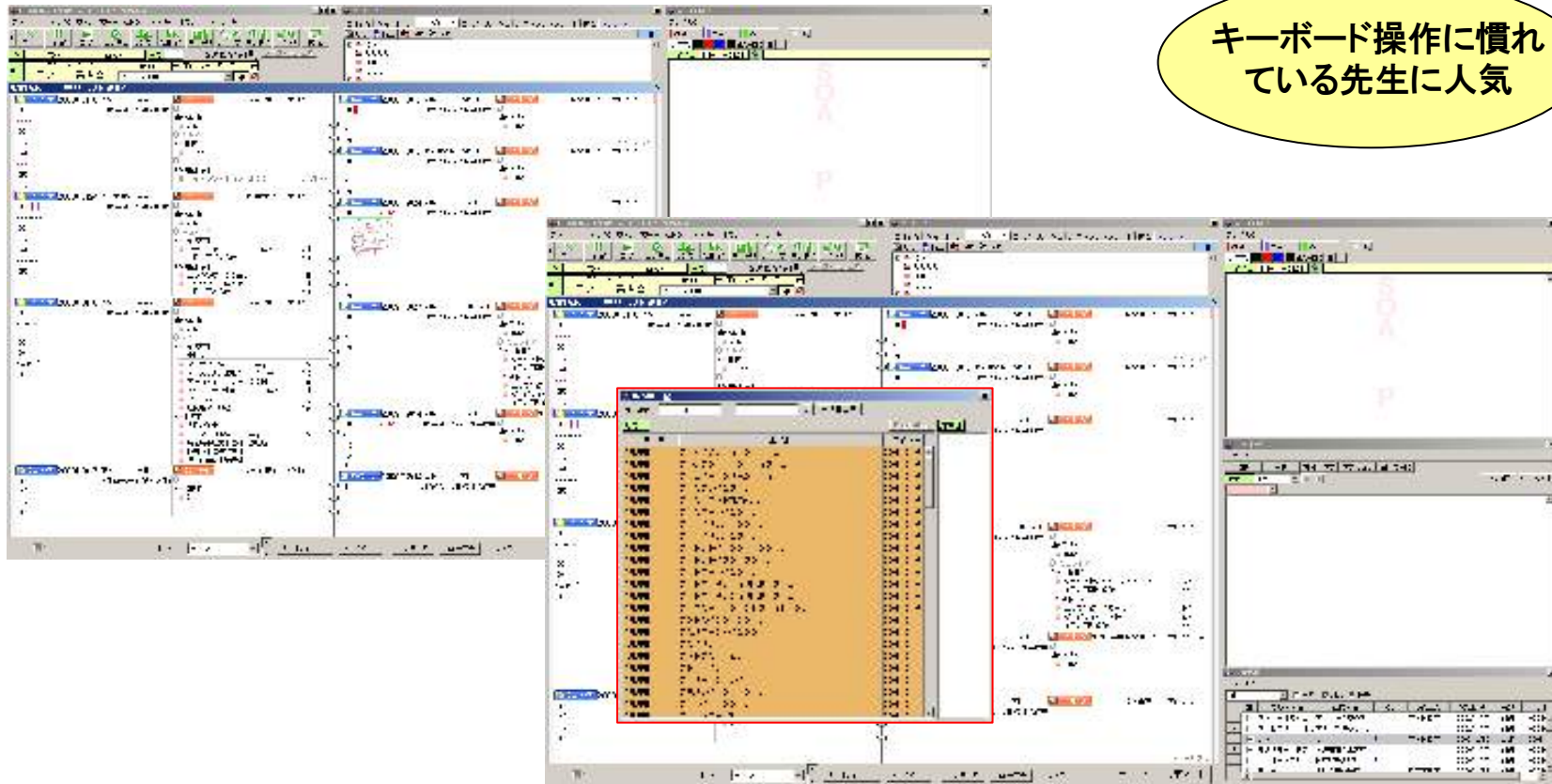
4) REMORA(リモラ)「PSC」

「導入実績」 169件

「入院機能」 無し

「特徴」 キーボード・マウス方式、ツリー式、ジョグダイヤル式で操作性が高い

URL <http://www.hos.ne.jp/psc/htm/products/remora/index.htm>





当社が扱っている電子カルテ



5) Dr.BoarD(ドクターボード)「メディコール」

「導入実績」 70件

「入院機能」 無し、看護支援あり

「特徴」 タブレットペン方式、手書きに特化

URL <http://www.drboard.com/>

手書き機能を求める先生に人気





当社が扱っている電子カルテ



6) Dr. Pen Lite(ドクターペンライト)「OMS」

「導入実績」 80件

「入院機能」 無し

「特 徴」 デジタルペン方式、オーダーシートが充実

URL <http://www.order-made-solutions.com/html/bitstation.html>

紙カルテをそのまま電子化





今までの電子カルテの問題点

1)患者さんから不満の声

- わたしを診ないで、コンピュータの画面ばかり見ている

2)ドクターの負担が多い

- ドクターが入力しないと回りが動けない

3)画面にいろいろ表示

- 患者さんの履歴確認と同時に、今の診療に必要な画面がいくつも出てくる

4)メーカ、機種ごとに操作方法が違う

- 標準が無く、どの機種がよいかわかりづらい

- レセプトコンピュータから発展した
- キーボード、マウス入力

事務・物流 から

ドクター中心へ

- 診療現場の視点で開発する
- デジタルペン、i-Pad、携帯 入力

新しいツールを使って次世代型のシステムを提供します。



IT化の効果とスタッフ育成



1)費用対効果の検証

- 病院版、大手メーカは1床当たり100万円 ⇒ 70万円以下に
- 無床版、400万円 ⇒ 200万円以下に
- 事務作業を半分以下に ⇒ 人件費削減、時間短縮、患者さんサービス
- 「紙カルテ」「フィルム」を無くし「伝票」を削減 ⇒ 保管場所、管理費の削減

2)ドクターをバックアップする体制づくり(メディカルクラーク)

- 診療に必要な情報を準備する ⇒ 前回処方、検査データ、患者情報
- 合法的に、クラーク入力を増やす ⇒ 予約、部門指示、入院手配
- クリニカルパス機能を活かす ⇒ チームワークで質の高い医療

- 大手パッケージシステム
- ブランドと件数だけで判断

押し付け から

診療主体へ

- ドクターごとにカスタマイズが可能
- スタッフ育成でドクターの負担軽減

スタッフ育成はシステム構築とセットだと考えています。



次世代型 電子カルテ

RayKarte

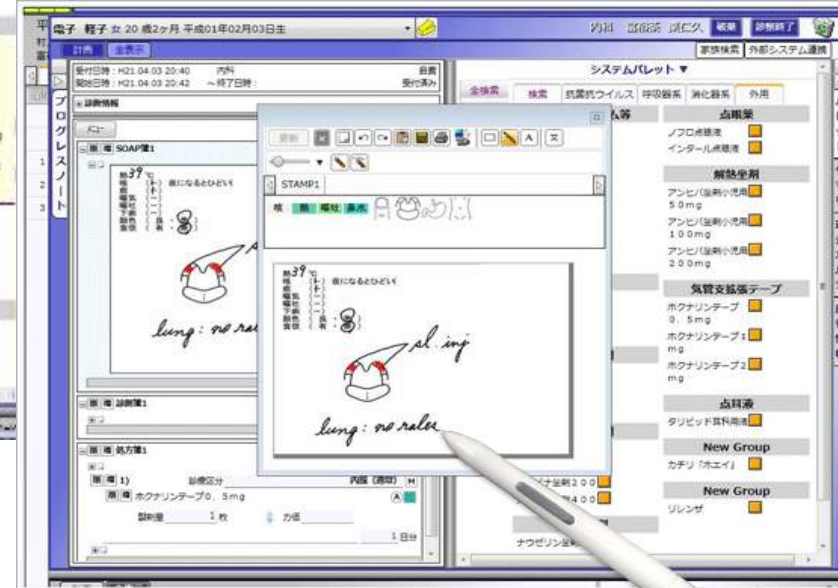


- 1) 機種 : RayKarte
- 2) メーカー : NTT東日本よりOEM提供
- 3) 導入実績 : 270件
- 4) 特徴 : タブレットペン方式、全ての操作がペン1本で可能
スタンプ機能と、手書きでスピードアップ



患者さんが多くても大丈夫
耳鼻科で1日180人を1人の
ドクターで診療している

だれでも直ぐに使える
急患センターで、35人のドク
ターが使用している





オーダー画面

RavKarte



1) 処置注射・検査オーダー画面

処置注射画面

医学知識表示でドクター支援

ペンをかざすと登録されている医学情報がポップアップされる
「処方」「処置」「注射」「検査」

検査画面



1)スーパーセット

操作性を重視・ストレスをかけない

「ペン」で「ボタン」をたたくだけ

2)操作説明

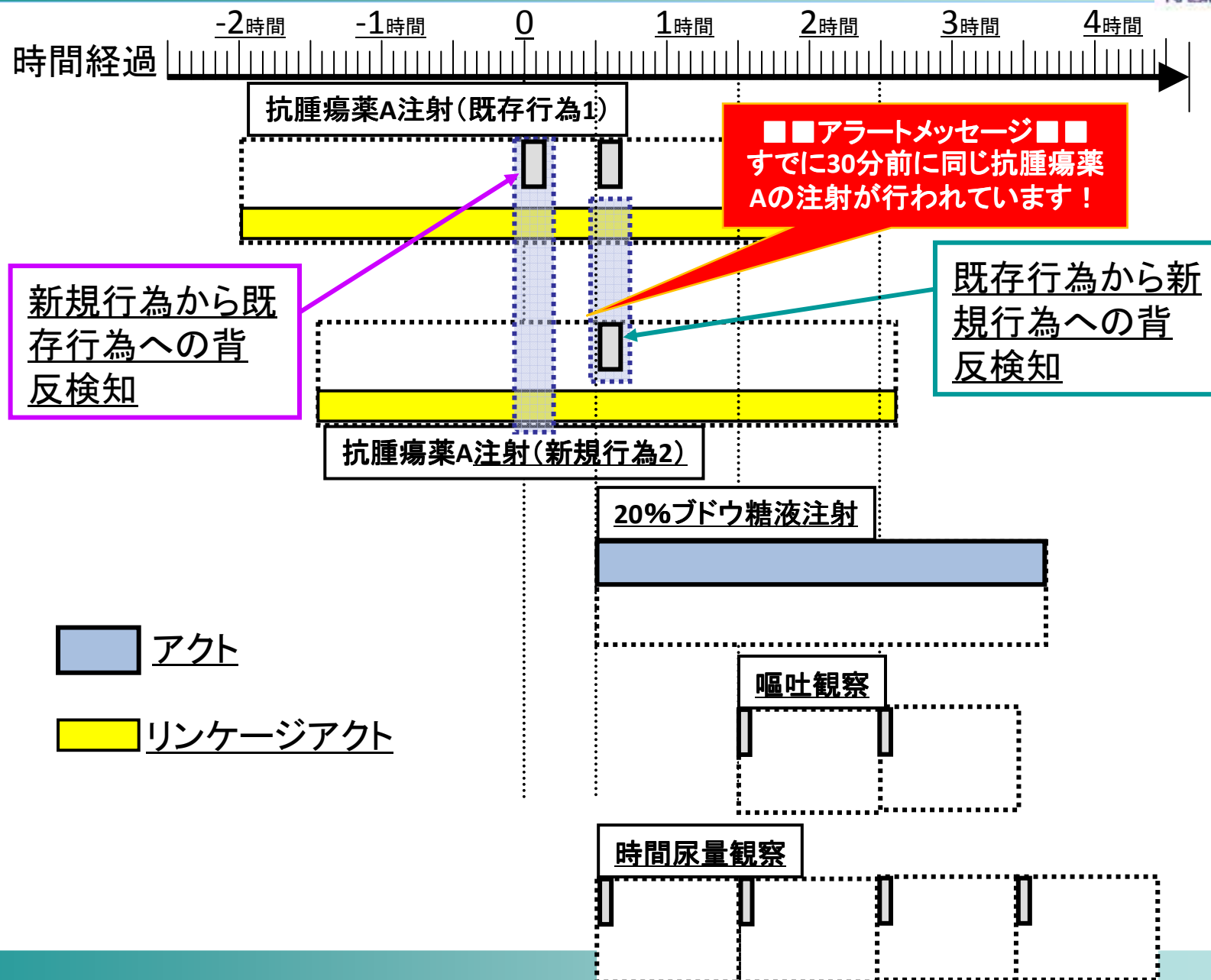
- ①診療区分(診断、処方、処置注射、検査)に関係なくセットを作成することが可能。
- ②一連の診察手順がクリック1つで可能。
- ③初診や症状別にあらかじめ作成しておき、手書き画面に必ず聞く内容、記載したい内容などを作成しスピーディーに診療を行える。

一括オーダー



安全確認機能

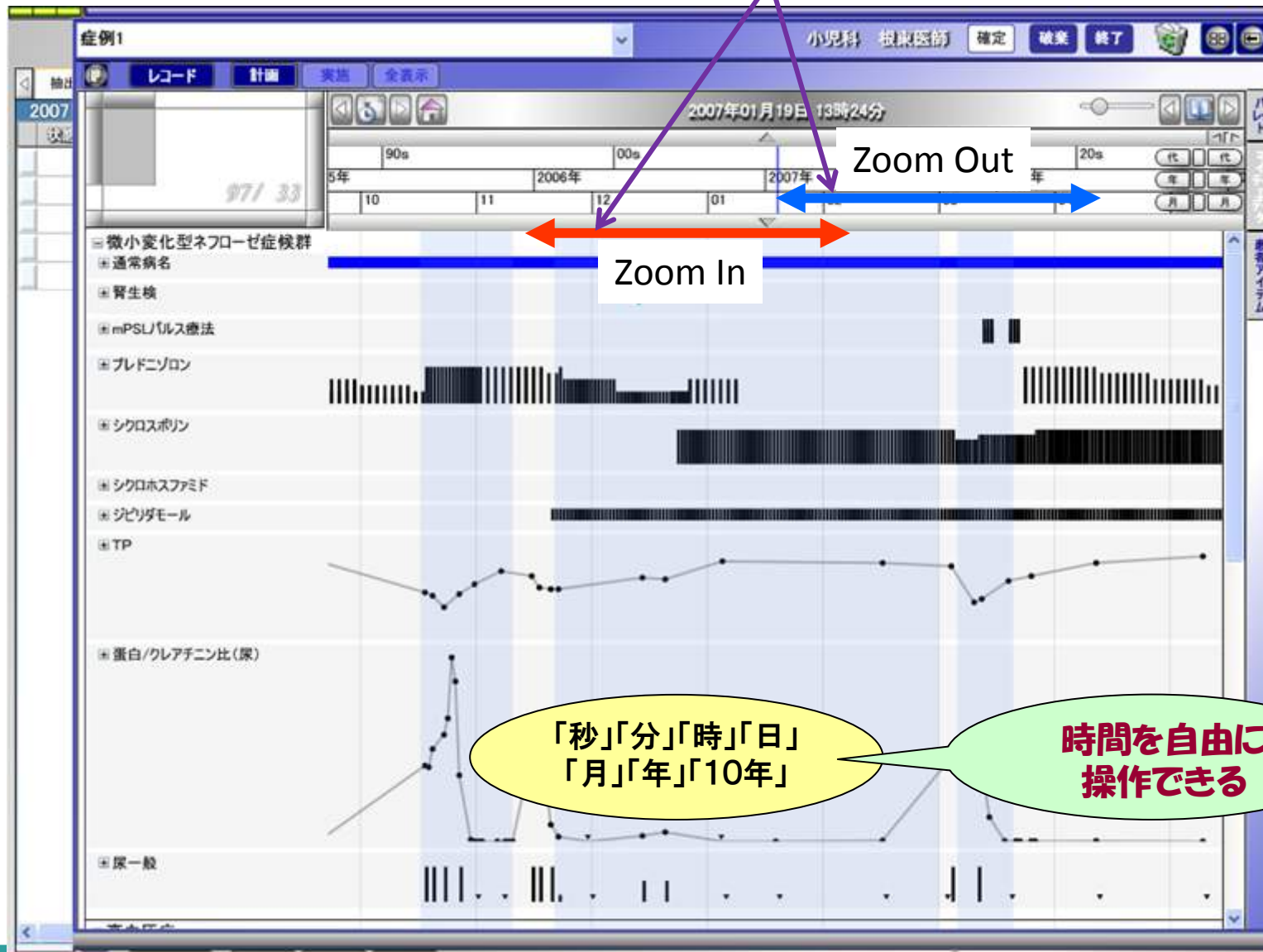
RayKarte





タイムラインビューア(ズーム機能)

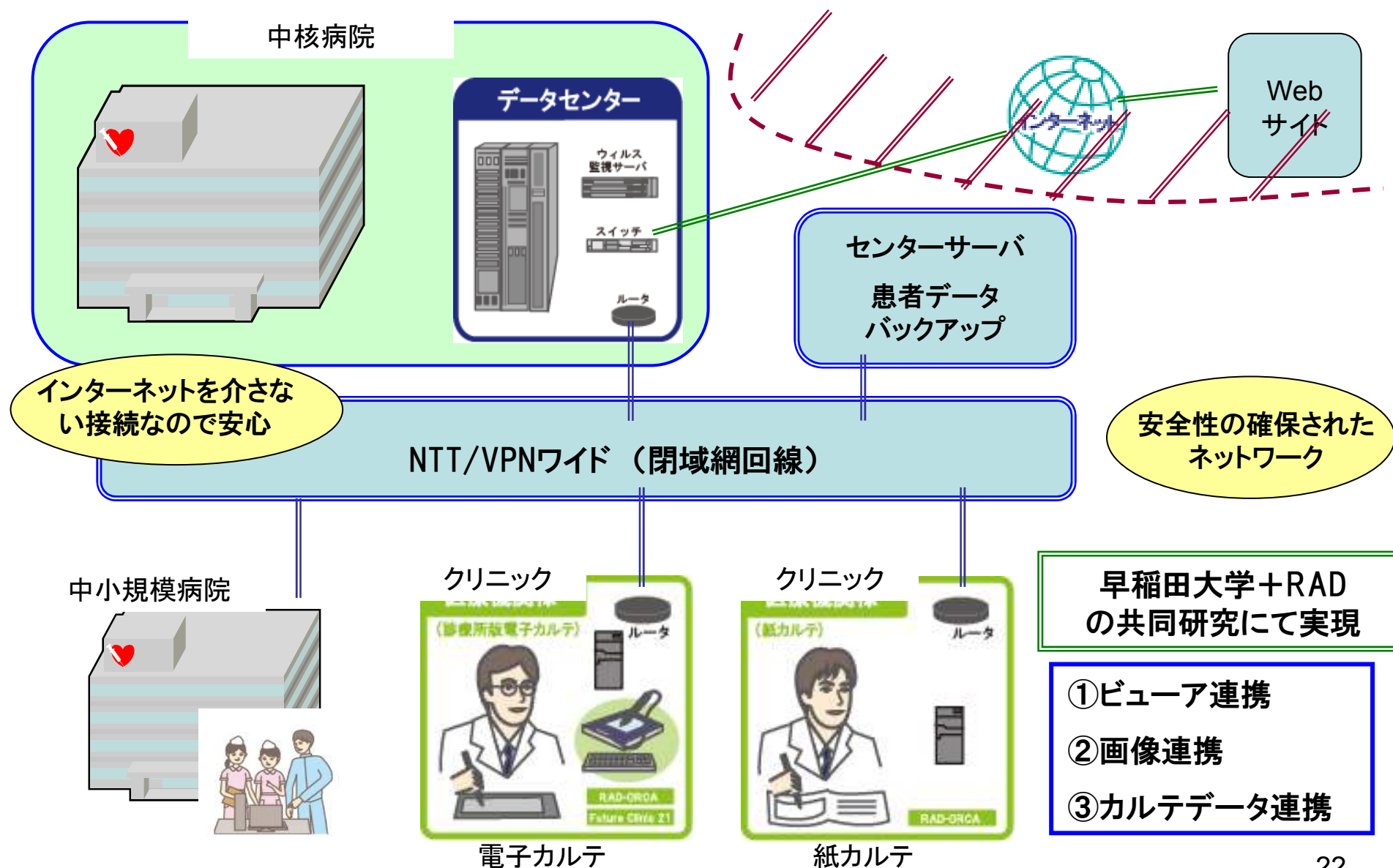
⇔の幅が画面全体になるように再描画することで、時間がズームする





地域医療連携ネットワーク

Medical Highway

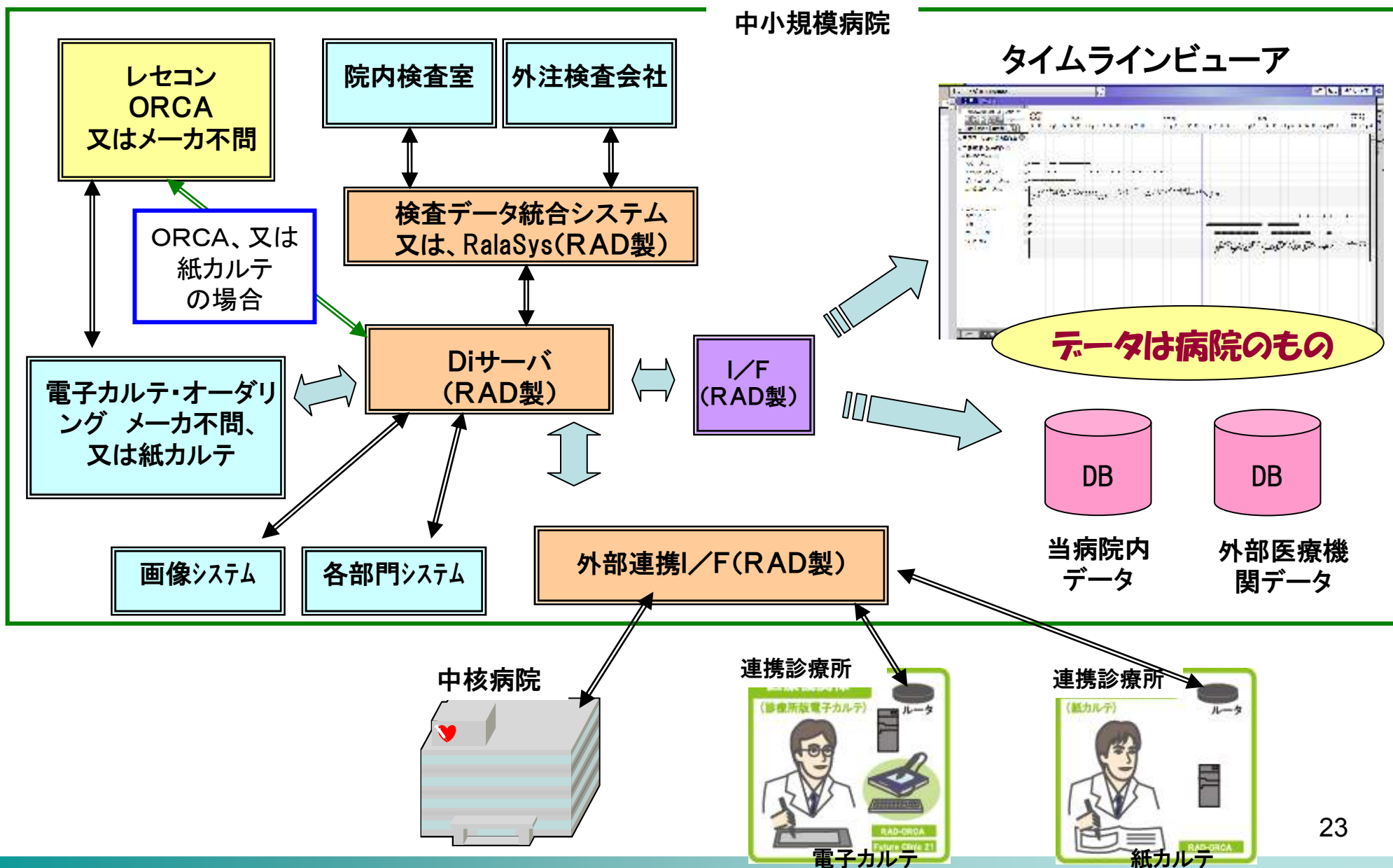




地域医療連携システム(中小規模病院)



中小規模病院





地域医療連携システム(紙カルテ運用のクリニック)



クリニック

タイムラインビューア



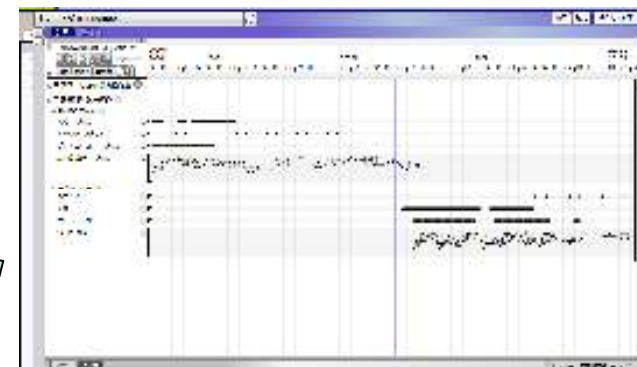
デジタルペン入力、
又は紙カルテをス
キャナにて取り込み

レセコン
ORCA
又はメーカ不問

外注検査会社

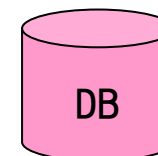
Diサーバ
(RAD製)

I/F
(RAD製)

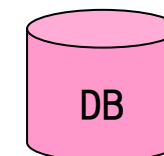


画像システム

外部連携I/F(RAD製)

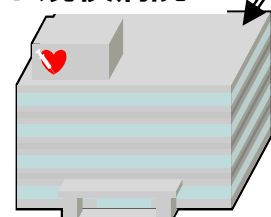


当院内
データ

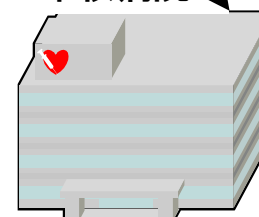


外部医療機
関データ

中小規模病院



中核病院





地域医療連携(タイムラインビューア)



複数の医療機関での入院歴・外来受診歴・処方歴(プレドニゾン)・検査歴(TP)が
それぞれ単一タイムラインに融合





まとめ



- 1、レセプト電算化で支払い側のチェックが厳しく
- 2、電子カルテはドクターが便利なものに
- 3、IT化の成功はスタッフ育成が重要
- 4、地域連携、治験への参加で収入アップ
- 5、患者さん満足を向上させ健全経営を図る

ご清聴ありがとうございました。

